

時習館高等学校附属中学校が完成しました。



校舎北西側外観



校舎1階:昇降口



校舎2階:教室



校舎2階:廊下



体育館外観



体育館内観



中学校校舎

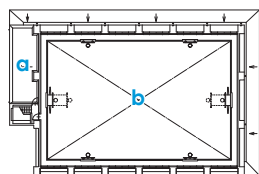
体育館

鳥瞰写真

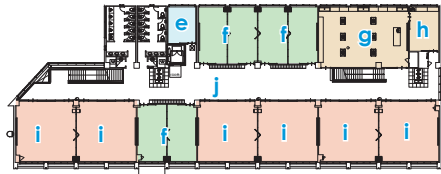
PLAN



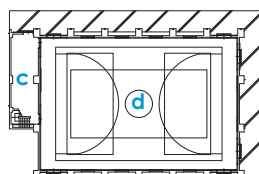
配置図 S=1:2500



体育館 2F PLAN S=1:1000



校舎2F PLAN S=1:1000



体育館 1F PLAN S=1:1000



校舎1F PLAN S=1:1000

- | | | | | | |
|-----------|----------|------------|----------|--------|-------|
| a. 屋上 | e. 配膳室 | j. 廊下 | o. 教育相談室 | t. 放送室 | 普通教室 |
| b. アリーナ上部 | f. 少人数教室 | k. 更衣室 | p. 技術教室 | u. 応接室 | 特別教室 |
| c. 倉庫 | g. 理科教室 | l. 職員休憩休養室 | q. 技術準備室 | | 少人数教室 |
| d. アリーナ | h. 理科準備室 | m. 昇降口 | r. 視聴覚教室 | | 管理諸室 |
| | i. 普通教室 | n. 保健室 | s. 職員室 | | |

CONCEPT

既存と調和した附属中学校の新設

高校の敷地内に新たに開校する附属中学校の校舎と体育館を増築する計画です。愛知県で県立中高一貫教育制度が導入され、時習館高校は第二次導入校として選定されました。県内に新設される令和7、8年度開校の附属中学校の内の1校です。

校舎と体育館は渡り廊下により既存の特別教室棟と接続する計画となっています。ハンテンボク並木や既存樹木を可能な限り残し、既存建物高さに合わせた2階建の低層とすることで、敷地内の景観の調和を考慮しています。校舎は、限られた敷地の中で2階建てを実現するため、面積効率の良い中廊下型としています。体育館は既設の高校体育館の屋根形状に合わせて鉄骨のヴォールト屋根としています。

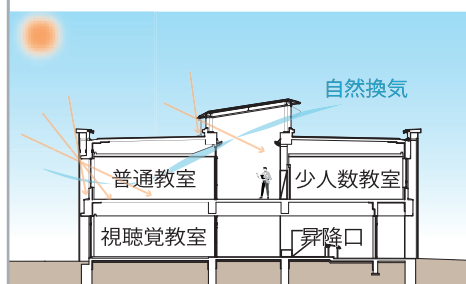
DATA

敷地面積	: 100,686.71㎡
建築面積	: 10,808.52㎡ (① 1,074.19㎡ ② 665.33㎡)
延床面積	: 15,106.56㎡
建ぺい率	: 10.73%
容積率	: 14.99%
構造・規模	: ①RC造 一部S造・地上2階 ②RC造 一部S造・地上2階 ③アルミニウム合金・地上1階
最高高さ	: ①11.416m ②10.27m
軒高	: ①8.865m ②7.126m
階高	: ①1階:3.8m 2階:3.85m ②3.5m
天井高さ	: ①1階:2.7m 2階:3.0m ②7.806m
主なスパン	: ① 8.0m×8.2m ② 4.5m×6.12m、4.5m×6.4m
工事期間	: 2024.10～2026.3
※①中学棟、②体育館、③渡り廊下とする。	

TOPICS

様々な学びを誘発する心地よい空間

校舎2階の廊下は、上部ハイサイドライトを設け光と風が抜ける明るく心地良い空間としています。また、普通教室と廊下の間の建具を多連引戸とし、少人数教室の中に移動間仕切を設置することで、空間にフレキシビリティを持たせています。



▶ <http://www.nissoken.co.jp>